

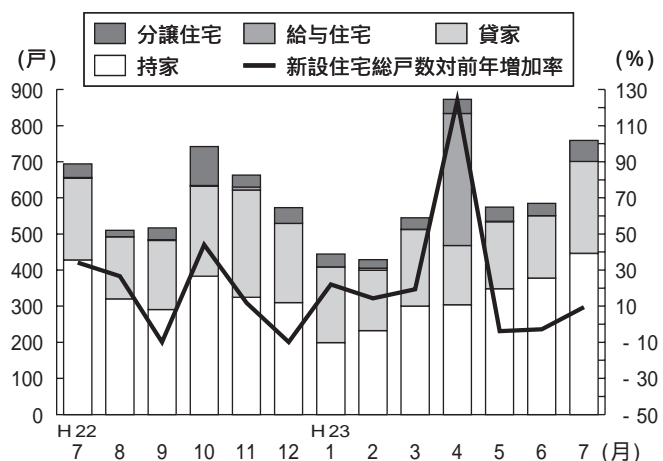
最近の各産業等の状況

織 維	衣料品：定番品は減少傾向が続いているものの、高付加価値品が国内生産回帰の動きがみられるスポーツウェアやユニフォームなどを中心に増加しているため、持ち直している。 非衣料品：海外向けが自動車内装材を中心に引き続き堅調な中、国内向けも自動車メーカーの生産が回復しているため、全体としては幾分持ち直している。 (日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・9月」) 石川県鉱工業生産指数(7月：原指数76.4) = (前年同月比5.8%)	
電気機械	電子部品：自動車向け出荷が持ち直しているほか、手許在庫積み増しの動きもみられることから、全体としては生産水準が回復している。 その他：ディスプレイ、電源装置は横ばい圏内で推移している。サーバーは、スポット受注の剥落から生産水準が低下している。 (日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・9月」) 石川県鉱工業生産指数(7月：原指数195.1) = (前年同月比 3.9%)	
一般機械	建設機械：インドネシア・中南米などの新興国からの受注増加や復興需要に加え、北米向けも回復していることから、生産水準が上昇している。 繊維機械：中国・インド向けを中心に高水準で推移している。 工作機械：中国などアジアや欧州からの受注増加などを背景に高水準で推移している。 プレス機械：中国などアジア向けを中心に低水準ながら持ち直している。 (日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・9月」) 石川県鉱工業生産指数(7月：原指数88.1) = (前年同月比26.8%)	
建 設	住宅 着工	7月の新設住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家、貸家、分譲ともに前年同月を上回ったことから、全体でも前年同月を上回っている。(図1参照) (国土交通省「建築着工統計調査」)
設	公共 工事	7月の公共工事請負金額は、前払金保証請負金額でみると、前年同月を下回っている。(図2参照) (東日本建設業保証㈱石川支店「前払金保証取扱状況」)

図1 新設住宅着工戸数の推移

年 月	戸 数 (戸)	総床面積 (㎡)
平成22年 7月	694	73,447
8	510	53,871
9	517	51,390
10	742	72,508
11	663	61,656
12	573	57,594
平成23年 1月	444	40,695
2	429	41,865
3	545	54,200
4	873	63,830
5	574	61,871
6	585	63,609
7	759	79,195

戸数の対前年増加率と内訳 (平成22年7月～平成23年7月)

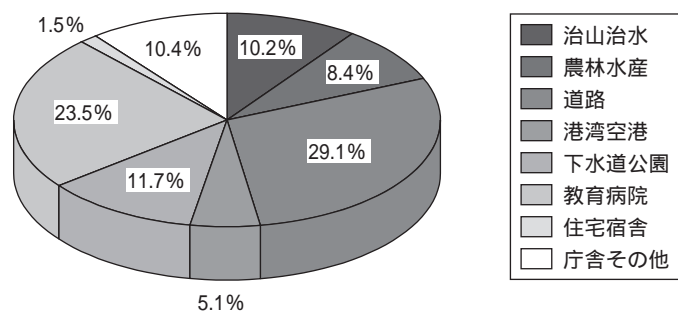


資料出所：国土交通省

図2 公共工事請負額推移

年 月	請負金額 (百万円)	前年同月比 (%)
平成22年 7月	11,308	16.0
8	12,357	4.5
9	21,681	16.1
10	9,538	23.3
11	8,856	14.2
12	7,095	0.3
平成23年 1月	6,943	59.5
2	6,516	36.7
3	16,397	41.0
4	12,423	3.5
5	5,980	16.3
6	13,503	13.5
7	10,998	2.7

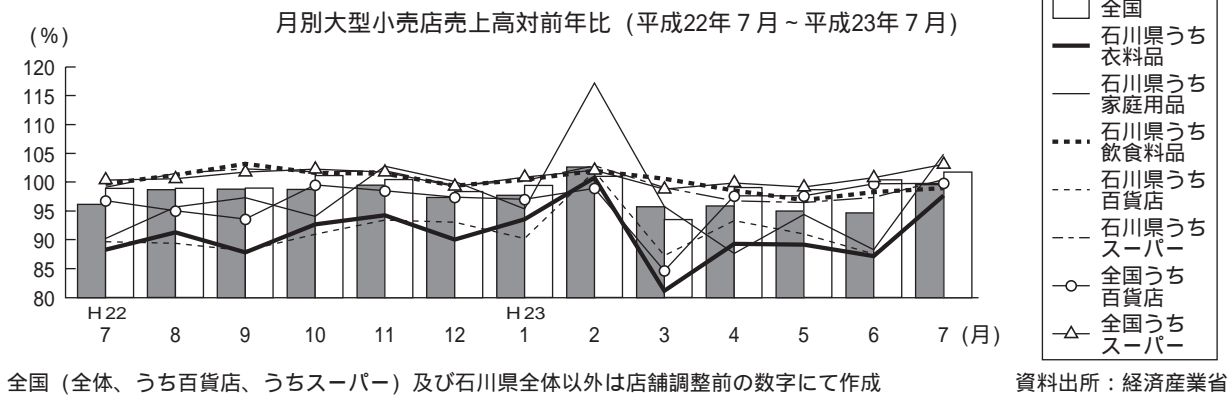
公共工事請負額内訳 (平成23年5月～平成23年7月平均)



資料出所：東日本建設業保証㈱

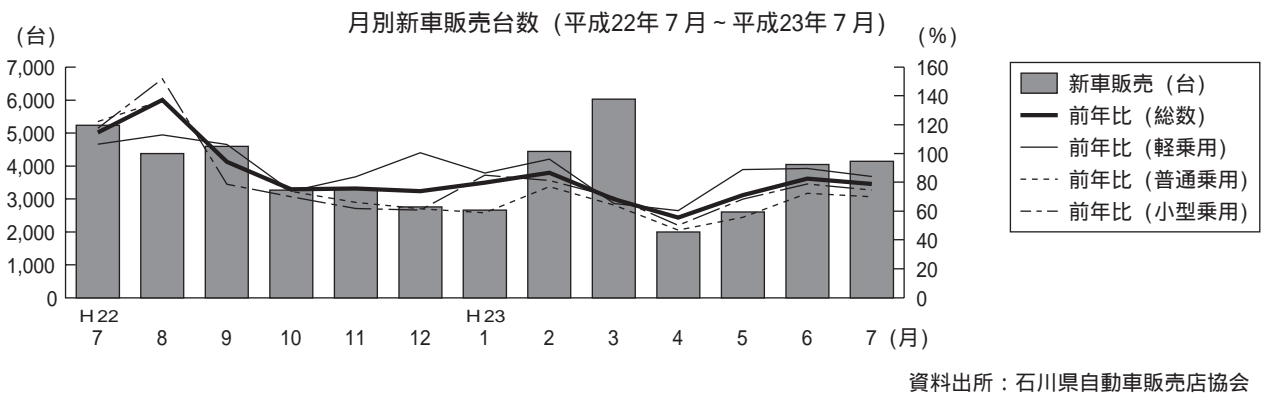
小売	大型小売店売上高	大型小売店販売は、クールビズ関連商品に動きがみられるものの、高額品の動きが鈍いほか、主力の飲食料品が足下で減少していることから、引き続き弱い動きとなっている。(図3参照) (財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・7月」)
	自動車販売	新車販売台数は、東日本大震災に伴う供給不足等により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに、前年を大幅に下回っている。(図4参照) (財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・7月」)
	家電販売	家電量販店販売は、薄型テレビやエアコン等に動きがみられることから、順調となっている。 (財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・7月」)

図3 月別大型小売店売上高推移



全国（全体、うち百貨店、うちスーパー）及び石川県全体以外は店舗調整前の数字にて作成

図4 月別新車販売台数推移



消費	消費者物価指数	7月の金沢市の消費者物価指数は99.2（平成22年基準）で、前年同月比では0.1%の下落となった。(図5参照) (石川県統計情報室「金沢市消費者物価指数」)
	家計消費	7月の金沢市の勤労者世帯の家計消費支出は前年同月比実質26.5%の減少となった。(全国は2.6%減) (石川県統計情報室「家計調査」)

図5 消費者物価指数（金沢市）の推移

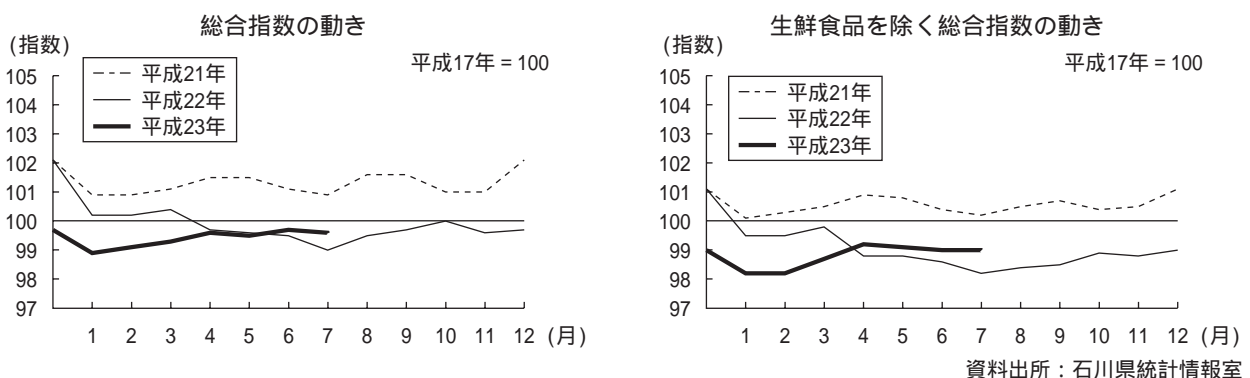
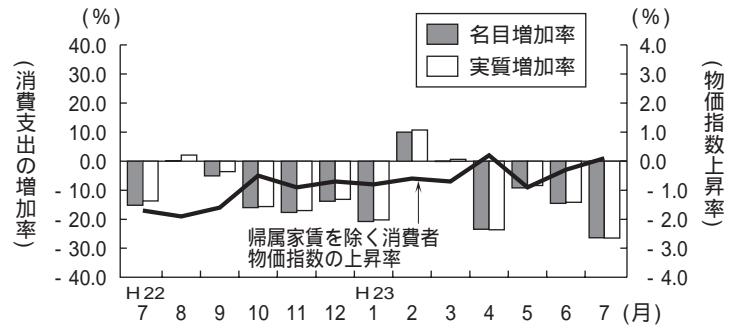


図6 消費支出と物価指数の推移

年 月	消費支出 (円) (農林漁家を含む金沢市勤労者世帯)
平成22年 7月	373,174
8	327,585
9	364,269
10	287,661
11	281,615
12	355,216
平成23年 1月	301,338
2	318,637
3	344,727
4	339,511
5	333,281
6	309,636
7	274,753

金沢市の勤労者家計消費の動き (平成22年7月～平成23年7月)

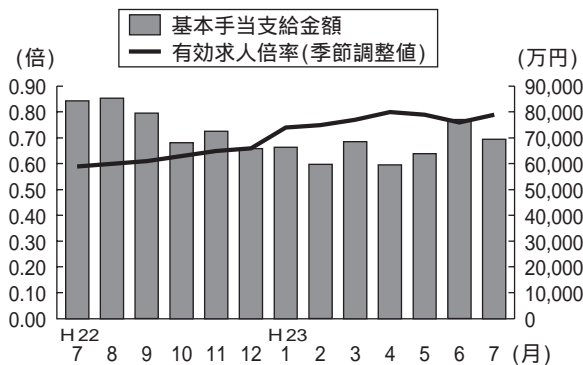


資料出所：総務省統計局

雇 用 勢	有効求人倍率	7月の有効求人倍率(季節調整済)は0.79倍となり、前月より0.03ポイント上昇した。(図7参照) (石川労働局「いしかわの労働市場」)
	雇用手当受給	7月は受給人数、支給金額とも前年同月を下回っている。(図7参照) (石川労働局)
労働力	完全失業率	石川県内の4～6月平均の完全失業率は3.7%(全国4.7%)と、前年同期に比べ0.7ポイント低下したが、15～24歳における失業率は8.2%(全国8.5%)と依然として高い傾向が続いている。(図8参照) (石川県統計情報室「石川県労働力調査」)
労 働 情	賃 金	物価を反映した実質賃金指数をみると、7月は3か月連続で前年同月を上回っている。(図9参照) (石川県統計情報室「毎月勤労統計地方調査結果」)
	労働時間	製造業の所定外労働時間をみると、7月は前年同月と同水準となった。(図9参照) (石川県統計情報室「毎月勤労統計地方調査結果」)

図7 有効求人倍率及び基本手当支給額の推移

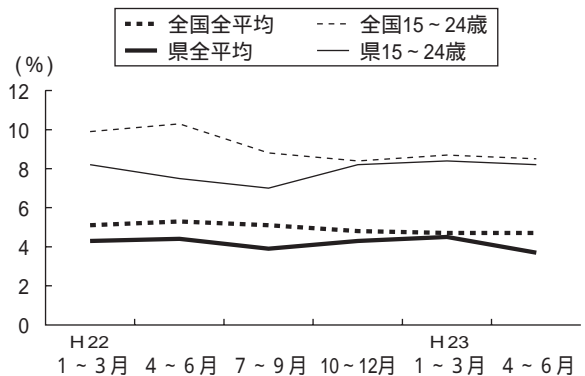
(平成22年7月～平成23年7月)



資料出所：石川労働局

図8 完全失業率推移

(平成22年第1四半期～平成23年第2四半期)



資料出所：石川県統計情報室

図9 賃金及び時間外労働時間の推移

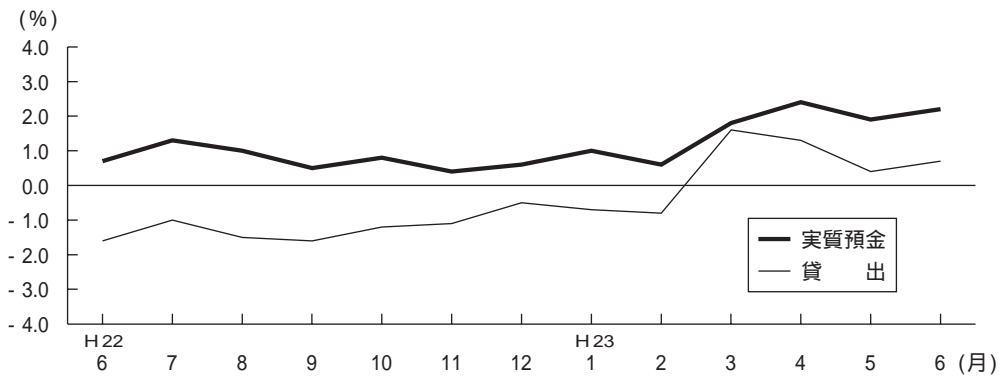
年 月	実 質 賃金指数	前年同月比	所定外労働時間 (製造業) (事業所規模5人以上)	
			時間	前年同月比
	H17=100	%		%
平成22年 7月	111.9	7.5	15.0	70.3
8	79.3	0.0	15.5	53.4
9	75.7	4.4	14.6	41.8
10	75.2	3.7	14.8	39.5
11	79.7	0.6	16.5	36.5
12	155.5	6.6	16.2	34.9
平成23年 1月	78.8	3.9	14.5	45.0
2	76.0	2.8	16.3	33.6
3	78.3	4.7	15.9	12.8
4	76.5	0.5	14.6	3.6
5	75.2	0.9	13.3	3.1
6	115.2	4.0	14.8	4.1
7	112.4	0.4	15.0	0.0

資料出所：
石川県統計情報室

観光	温泉地宿泊状況	平成23年6月の温泉宿泊客数は、5か月連続で、前年を下回った。(前年比 9.6%) (日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・9月」)
	旅行	旅行・観光関連では、東日本大震災の影響により、旅行取扱実績、主要温泉地の宿泊客数、主要観光地の来訪客数ともに引き続き低調となっている。 (財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・7月」)

金融	預金・貸出残高	実質預金(未残)は、全体では前年を上回って推移している。貸出金は、個人向けと地方公共団体向けが前年を上回って推移しているほか、法人向けも前年を上回っており、全体でも前年を上回っている。(図10参照) (日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・夏」)
----	---------	---

図10 預金・貸出金残高前年比推移 (平成22年6月～平成23年6月)

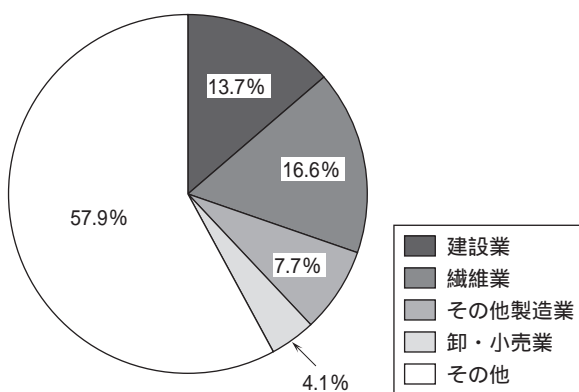


資料出所：日本銀行金沢支店

企業倒産	企業倒産 (5～7月、負債総額100万円以上) をみると、件数 (45件、前年比66.6%)、負債総額 (119億円、同103.9%) とともに前年を大幅に上回った。 (日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・夏」)
------	---

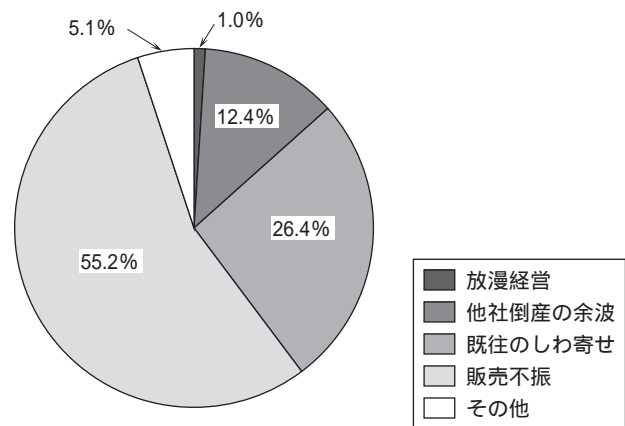
図11 県内企業倒産状況 (平成23年5月～平成23年7月平均)

図11 - A 業種別内訳



負債総額ベースで作成

図11 - B 原因別内訳



資料出所：(株)東京商工リサーチ金沢支店